

北九州市立菊陵中学校
学校だより
15号
校長 上 赤 義 人

学校教育目標
生徒一人一人の個性の伸長を図り、
徳・知・体の調和のとれた、
感謝の心をもつ自主した生徒の育成

「生きる」ということについて

3年生は卒業し、1・2年生は進級し、令和2年度の一年間が終わろうとしています。卒業・進級の時にこそ、みなさんに考えてほしいと思い「生きること」について話をします。

もし、国語科や数学科と同じように「生きる科」という教科があるとすれば、その教科で一番大事なことは何だと思えますか。私は「聞くこと」「選ぶこと」だと思えます。

そこで、授業中など、みなさんの話の聞き方は、①相手に注目し目を見て聞く。②他のことを考えながら聞いている。③手遊びをしながら聞いている。④ただ何となく（ぼんやりと）聞いている。⑤相手なんか無視して話しをしている。この5通りがあると思います。その中で、②③④は聞いているのではなく、「聞こえている」のです。聞ここうとする意思、すなわち目的意識がないのです。この目的意識が「生きていく」うえでは重要なのです。この目的意識がないと「選び方」を誤るのです。人の話は、耳だけでなく、目でも聞き、心で感じるものだと思います。

「選ぶこと」とは、先ほどの聞き方を例にとると、5通りの聞き方の、どの聞き方で聞くかを自分で決めて、実際にそうすることです。「選ぶこと」には行動が伴います。そして、その結果



には自分で責任を負わなくてはなりません。また「選ぶこと」には「時」が重要になってきます。今、自分は何をすべきかを常に考えなくてはなりません。「時」に関して、こんな言葉があります。『自然万物には、すべて時がある。植えるにも時があり、穫るにも時がある。生まれるにも時があり、死ぬにも時がある。建てるにも時があり、壊すにも時がある。そして、愛するにも時があり、憎むにも時がある。』このように、人生には常に「時」があります。今何をすべきか、これから何をすべきかを考えることは大切なことです。人の生き方は様々です。みなさんには、選び方を誤らずに、心豊かな悔いのない人生を送ってもらいたいです。これからどのように過ごしていけば、自分の将来のためになるのか、みなさん一人一人が考えてみましょう。

卒業・進級の時にこそ、今何をすべきか、来年度何をすべきかを考え行動を始める時なのでから…。

卒業生のみなさんへ
ご卒業、おめでとう
ございます。
卒業生の皆さん一人一人が本校を素晴らしい学校にしてくれました。今日の私たちの幸せな気持ちは皆さんのおかげです。
ですから、私からの感謝の気持ちは、卒業生の皆さんにこそ差し上げたいと思います。
ありがとうございます。

保護者、地域の方々へ

保護者の皆様には、本年度はコロナ感染防止のための様々な制約の中、本校のPTA活動をはじめ、学校・学年や学級の諸行事・諸活動に対し、多大なるご理解・ご協力をいただいたことに深く感謝いたします。

また、地域の皆様には、陰ながら学校そして子どもたちを支えていただきありがとうございました。

来年度に向けて、よりよい菊陵中学校を目指してまいります。今後とも、よろしくお願いいたします。